

石巻市長に

亀山

紘氏が就任しました

石巻市長選挙が、4月19日(日)に行われ、即日開票の結果、亀山紘氏が石巻市長として誕生しました。

市長就任にあたって

このたびの市長選挙において、市民の皆様のご信任を賜り、石巻市のこれからの4年間の舵取り役を付託されました。新しい市政をスタートさせるにあたり、市民の皆様にご挨拶をさせていただきます。

私は、市長としての使命は、「市民が、豊かな自然環境の中で、このまちに住むことに誇りを持ち、健康で楽しい、充実した人生を送ることのできる舞台づくり」であると考えています。

魅力ある舞台づくりには、スタッフの熱い思いが必要です。石巻市の職員は、その舞台づくりのための高い技術力とノウハウをもったスタッフであり、石巻発展の力ぎを握る市民の財産であると思います。

私は、高い倫理観に基づき公平かつ公正な職務を遂行できる職場環境を整備するとともに、

自由闊達に発想し、意見を言える風通しのよい組織づくりを進めたいと考えています。

また、政治家は「ことば」が命であると考えています。自分の口から出た言葉、一つひとつに責任をもつことであり、いかなる場面においても言葉のやり取り、すなわち対話を尽くすことが大切であると思います。

生活者の視点で丁寧な市民と会話すること、市民のために議会と徹底的に討論することが、行政のトップに求められている姿勢であると理解しております。

私が描いている石巻市の姿は、豊かな暮らしの基盤である経済・産業が活性化し、新しい産業が次々と生まれ育つまちであり、また既存の水産加工業や農業・林業・漁業も新しい消費者ニーズに対応して日々成長するまちで、多くの市民が元気で明



当選証書を受け取る亀山市長

るく輝いているまちです。また、障害者や高齢者が生きがいをもって自立して安心して暮らせるまちで、医療施設や福祉施設が充実しており、市民は、豊かな自然と共生しながら、学習、趣味、スポーツなど多様な仲間とのふれあいを通して、健康的で生き生きと暮らしている、住みやすさオンリーワンのまちです。

これからのまちづくりは、特定の一部の人間が考え、行動する時代は終わりました。市民が自らの暮らしの満足度を高めていく主体となり、行政と協働して石巻の未来を創り出す体制を整えることが必要であると考えています。

私は、市民参加型の協働によるまちづくりを進めるため、石巻市のさらなる発展と活性化を目指してまいります。

石巻市長 亀山 紘

新市長さんに

期待しています



川村 久美さん
(蛇田・NPO法人事務局)

石巻ブランドの創出を

石巻には何でももある！と思っています。だからこそ、何をアピールしていいのか迷ってしまうところもありま

す。そこで、新鮮で品数豊富な食材を産み出してくれる里山や海を活かして石巻ブランドを創出、食と農漁業体験が合わせて楽しめる複合型の観光プランで売り出すのはいかがでしょうか？

市長さんには、どんなまちになりたいのか、理想の将来像に向けて夢や希望を語り合える雰囲気作りを、市民と共に行っていただくことを期待します。



若山 智彦さん
(桃生町・土地家屋調査士)

「自由な議論」をする「しくみ」作りを

市をあげて議論すべき問題は山積していますが、新市長には、国や県に対して地域の

経営者として腕を振るっていただきたい。

政策決定の際は、その問題を我が事のように熱心に考えている市民から幅広く意見を聞き、そのテーマについて最も見識のある方と、担当者として明確な意見を持つ市職員とで「自由な議論」をする「しくみ」を作り出し、また、市長の意思決定のプロセスにおける透明性の確保と、その説明責任を十分に果たすことを期待しています。



毛利 壮幸さん
(住吉町・小売業)

演出指導型の政治を

国にかたちがあるように、地方にもかたちもあり、その根幹は市井しやいの人の日々の営みであることは言うまでもあり

ません。マニフェストにもみられるように急務の課題が山積する中、その営みの足元が安定しているこそ施策の加速度が増すのではないのでしょうか。そのために、今後、広がると思われる地方の「福祉」、「医療」そして「教育」の格差に、市井の人が巻き込まれない施策を、亀山市長の政治理念のもと思い切って講じてほしい。そして、引率指導型ではない演出指導型の政治を期待します。



青木 真理さん
(雄勝町・主婦)

多くの声に耳を傾けて

1市6町から成る私達の石巻市。『いしのまき』という趣のある響きが私は好きです。

お互いに、他のまちの催しや特産物などに関心を持ち、広め合う事は、市全体の発展へとつながると思います。リーダーである市長さん、ゆっくりと、あらゆる地域を順々に訪問する機会を増やしていただけなら幸いに思いますが。現地の様子を肌で感じ、数多くの人々の生の声に耳を傾けていただくことが、具体的な改革へと結びつく大切な一歩だと思います。